



地蔵供養会

じぞうくようえ

お地蔵様は、古くより慈悲深く人々を見守り、日々の暮らしを支えてくださる仏様として、広く信仰されております。

地蔵供養会では『地蔵菩薩本願經』の「属類人天品」をお唱えしご供養を行います。このお経には、お地蔵様のお姿を拝し、その御名を聞くだけでも救いにあずかると説かれております。さらに読経供養を重ねることで、諸仏の加護を受け、災厄を遠ざけ、日々の安寧や福德が授かるなど、現世におけるさまざまなご利益があるとされています。また当山のお地蔵様は、子育て地蔵としても篤く信仰されております。お子さまの無事成長や身体健全を願い、どうぞご家族皆様でご参加ください。

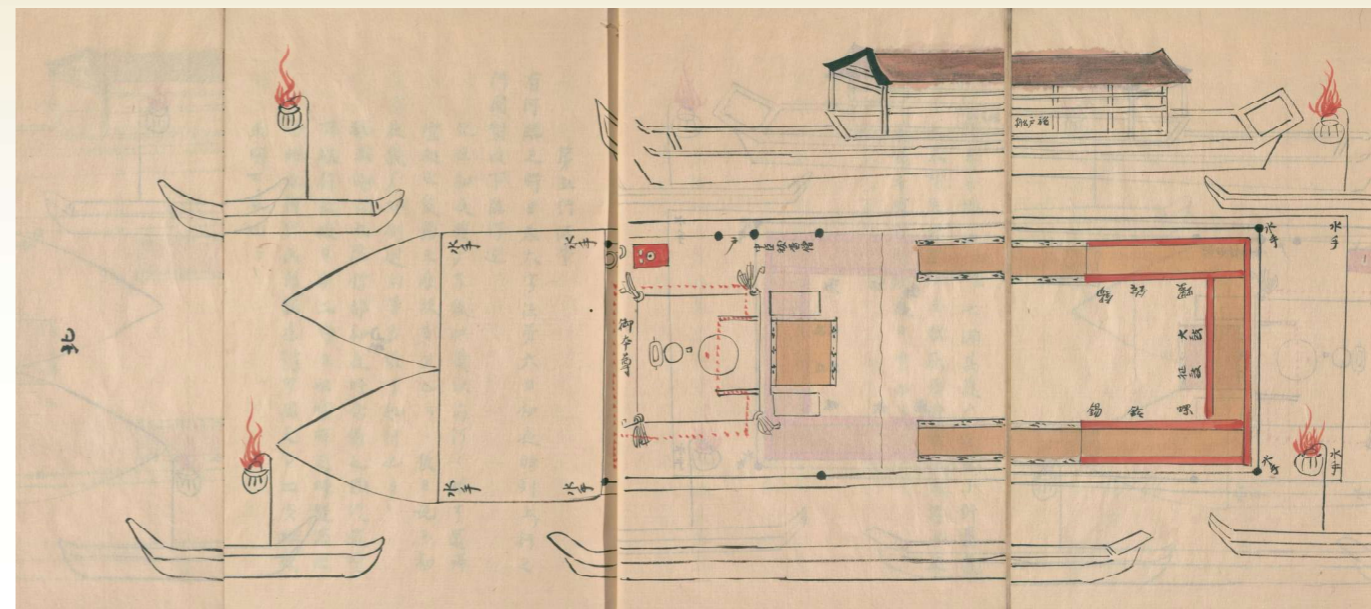
今年は柘植(つげ)の腕輪念珠をお授けいたします。

講金 2,000 円也：寺務所にて受付中



ろくじかりんほう 「六字河臨法」

本龍院執事 深谷昌広



引用：国立国会図書館

現代において他人との付き合い、人間関係は本当に難しいものです。ほんのちょっとした行き違いから人から恨まれたり、妬みや嫉みを得ることは、往々にしてあることです。ご参拝の方にも思い当たる節があると思います。

平安や鎌倉時代には鳥羽上皇や『吾妻鏡』に記述があるように鎌倉幕府3代将軍の源実朝公など限られた権力者は「六字河臨法」という祈禱で人からの恨みを避けていました。これは天台宗第3代座主の慈覚大師が唐から持ち帰った秘法で、その名前の通り川で行う祈願です。鎌倉時代の仏教書には「人に恨まれたり病気の時や産婦の為これを修す」とあります。特に恨みつらみの類には「最極の秘法なり」とあります。

その方法はというと、まず川に2艘の船を浮かべて板でつなぎ、その上に小屋を建てます。その中に護摩壇を設けて比叡山のお座主様などの高僧が護摩を修法します。本尊は聖観音または六観音を描いた曼荼羅です。その周りに大勢の僧侶が太鼓や鉦鼓、法螺貝、鈴、錫杖といった鳴り物で大きな音を立て大声で真言などを唱えます。さらに舟を漕ぐ水夫などもいて、これを行うには実に数十名の人員が必要でした。さらに前後の修行も含めると7日間以上の祈願でした。

これだけ大掛かりですので六字河臨法を行なえたのは本当に権力を持った者のみだったようです。私たちが六字河臨法を行う事は難しいでしょう。

皆様におかれましては人間関係で困ったときには、聖天様に一心にお参りされると良いでしょう。なぜなら聖天様つまり歡喜天様は、その名の通り供養する者の心に「歡喜」を起し安心させてくれます。それだけでなく災いを為す方の心にも「歡喜」を生じさせて正しい心に導き改心させると言われています。

つまり敵味方に関わらず全て者を幸せにする事から「歡喜」天と呼ばれる神様なのです。当山の『大聖歡喜尊天和讃』にも「…人の嫉み泣かんととき…ただただ念じなば…総ての難を除け給う」とあります。一心にお願いすれば必ず聖天さまに助けいただけるでしょう。

朝まいり会

6月1日~7日 午前8時~8時半 会費:500円也

皆様と一緒に「大聖歡喜天礼拝作法」を読誦いたします。毎日お出でになれなくても1週間のうちで、ご都合のよろしい日にご参加ください。

写経の会

6月14日(日) 午前10時、午後1時 会費:500円也

お経を一字一文字丁寧に写すことにより仏様の功德をいただけます。

日曜勤行

6月14日(日) 午前9時 参加費:無料

初心の方も気軽に参加いただけるお勤めの会です。住職の3分法話もごさいます。

合同大般若法要

6月25日(木) 午前11時 法要料:5,000円也

皆様と一緒に上げする御礼の法要です。

坐禅の会：定員45名

6月27日(土) 午前9時半~10時半 参加費:500円也

僧侶より説明を受けながら坐禅の修行を体験できます。足の悪い方は椅子でのご参加もできます。

ライブ配信のご案内

御縁日法要・合同大般若法要のライブ配信を行っております。



「安全講」

4月19日(日)、春のやわらかな陽気の中、多くのご参列をいただき安全講大祈禱会を厳修いたしました。本堂にて皆様の諸事安全を祈念し、日々の安全と安寧を願ってご祈禱を執り行いました。



「お参り作法説明会」

5月5日、6日の二日間、住職によるお参り作法説明会が開催されました。大広間での座学では、経本の読み方や読経の際の所作について、一つひとつ丁寧に解説が行われました。また実際に境内を巡りながら、山門から本堂、各末社でのお参りの仕方についても説明がありました。両日とも多くの方にご参加いただき、皆様が熱心に説明へ耳を傾けられている様子が印象的でした。

「西川流宗家西川扇藏様による演舞が行われました」

4月19日(日)、安全講大祈禱会終了後、西川流宗家十一世家元・西川扇藏様による奉納舞踊が信徒会館大広間にて披露されました。西川扇藏様は日本舞踊五大流派の一つである西川流の宗家として、古典の継承をはじめ幅広く活躍されています。当日は多くの参拝者が見守る中、常磐津「山姥」が上演されその美しい舞に見入っていました。「山姥」は、一般には恐ろしい老婆の姿を思い浮かべがちですが、日本舞踊では三十歳ほどの女性として描かれ、後に坂田金時(いわゆる金太郎)となる怪童丸の母としての姿が表現されています。その物語が落ち着いた所作とともに丁寧に表現され、観る人の心に残る舞台となりました。この日の奉納舞踊も、春のひとときを彩る印象深いものとなりました。



「お宮参り」

4月5日(日)杉山大吾郎くんのお宮参りを行いました。尊天様の加護を受け健やかに成長されることをお祈りしております。



「仏法僧とお参りの心」



「仏法僧の三宝」とは、法話などでよく使われる言葉です。本来、「仏」とは文字通り仏様のこと、「法」とは仏様の教え

のこと、「僧」とはそれを奉ずる集団ということになりますが、待乳山の本堂内においては、「仏」とは聖天様のこと、「法」とはそのお導き、「僧」とは僧侶だけではなく、信仰する信徒の皆様と解釈してもよいでしょう。この三宝を大事にすることは、信仰を深め、功德・ご利益への力となります。特に「僧」に狭義の出家者というだけでなく、参拝の皆様自身とらえていただければ、より有意義と思われま。先日、当山において、お参り作法の説明会を催させていただき、大勢の方々にご参加いただきました。参拝の仕方に確信を持たれた方や、より信仰を深めたいという方の多いことを実感いたしました。参拝作法の基本を「仏法僧」になぞらえて言えば、まず本尊様にお喜びいただき不快にさせない、そしてほかの参拝者にも気持ちよく参拝していただく、またお経本などを丁寧に扱い、教えに敬意を払う、といったことになりましょう。そのような心構えでの所作は美しく、その姿を見る人は感動を覚えます。寺院参拝でのご利益は、本尊様のお導きによることはもちろんのこと、皆様がつくるものでもありましょう。皆様の祈りの力によってお寺の雰囲気は形成され、ますますお寺の功德が蓄積され、皆様にも還元されることでしょう。当山といたしましても、どなた様も気持ちよく参拝できますよう気を配ってまいりたいと思います。

御奉納

太田悠介様より伽羅の七種香を御奉納いただきました。日々のお勤めに使用させていただきます。ありがとうございます。



境内整備のご報告

戦後の堂塔伽藍の復興後、長い年月が経ち、あちこちに老朽化や破損などが目立ってまいりました。また、ご参拝の方々の増加に伴い、境内、施設等の回収も必要となってきました。現在、それらの整備・改修工事を計画いたしておりますが、その一環としてまず、安全性を鑑みて、歩道沿いの塀の建て替え工事を始めております。これに伴い、倒木の危険性などから、中庭の一部の整地を行いました。塀の完成後、改めてこの場所の景観整備、ご信徒の為の有効活用を計画いたします。



ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万二千元(一週間)
浴油祈禱 四千元(一週間)
華水供 六百元(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。
百味供養 法要料 八万円
沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。
大般若法要 法要料 五万円
所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。
自動車加持 法要料 壱万円
当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

